

5年1組

場所 第2多目的室

外国語活動指導案

山本 吉彦

1. 単元名 「学校紹介をしよう！」

2. 単元設定の理由

(1) 単元について

5年生の児童は、1学期からの活動で自己紹介ビデオを作成してきた。通常の授業を通して学んだ表現を少しずつ自己紹介に組み込みながら、3学期にはオリジナリティーが詰まった自己紹介になるように進めていっている。

今年度は読む、書くという活動も少しずつ取り入れてきたため、中には難しくてなかなか書けない、読めないという子どももいたが、お手本を見ながら書いたり、書けた文章を声に出して読む際には、ALTや教師とのやりとりで読んだりすることができた。

2学期の授業中、子どもたちから「理由をあらわす言葉を言いたい！」と出てきたため、Becauseを使って自己紹介ビデオをさらにレベルアップさせ、11月には中学生との交流授業で自分たちの自己紹介を披露した。さらに、オーストラリアの小学校との交流がスタートし、自分や家族についての文通が始まった。既習事項だけでなく自分で調べたり、ALTや教師に聞きながら相手に伝えたいことを文章や音声にしようとしたりしていた。

3学期は、2学期最後にもらったクリスマスカードの話から、「どんなところに住んでいるんだろう」「むこうの学校ってどんな感じなんだろう」という疑問からオーストラリアの友達に自分たちの学校を紹介しようということになった。時間割を作ったり学校内のいろいろな場所や特別教室の言い方を学んだりした前単元を思い出させながら、それぞれが学校の中で好きな場所を選びその場所について紹介させたい。

この活動を円滑に進めるために、子どもたちが自分で考え選べるように、あらかじめある程度の選択肢を準備する必要がある。また、ALTや教師は英語の表現を調べるために必要な環境を整えなければならない。例えば、ALTとのコミュニケーションを通して理解したり、推測したりする力を養ったり、辞書やタブレットを使って調べたりしながら理解を深めたりすることができるようにしておく。

(2) 単元の見込み

○積極的に学校紹介の活動に参加し、自分や友だちの意見をしっかりと伝えたり聞いたりしようとする。(興味・関心)

○学校紹介文を考える時やプレゼンを作成する時に、友だちと関わりながらお互いの良さに気づくことができる。(人間関係)

○学校内で選んだ自分の好きな場所を紹介するために、アイスグッツェ(アイコンタクト、スマイル、グッドボイス、ジェスチャー)を使って伝えることができる。(表現力)

○学校紹介に必要な単語やフレーズを選び、それらを使うことができる。(ことば)

(3) 活動構成の仮説

○自分で学習内容を選択して自己決定することで、活動への意欲が高まる。

学校紹介文を作成する際に、紹介する場所や文を自分で選んで決定することで、より意欲的に活動し、それが学び創り続ける姿につながると考えた。

○適度な困難度に挑戦することで、活動への意欲が高まる。

穴埋め形式の文を使って紹介文を作ることや、わからないことをALTに聞いたり、辞書等を使って調べたりすることが、挑戦しようとする意欲につながり、学びを創り続ける姿につながると考えた。

3. 指導計画（全7時間） 《本時 第5時》

時	活 動	子どもの意識の流れ	○評価 ☆支援
1	学校紹介に必要な言葉を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介で使った言葉も使えるかな？ ・学校のどこを紹介しようかな？ 	<p>○自分でどこの場所を紹介しようか選択できる。</p> <p>☆自分が好きな場所や紹介したい場所を声かけをして想起させる。</p>
2	自分にあった紹介文の表現を選ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室は library だったな。 ・場所によって使う文章を選ばなきゃ。 	<p>○自己選択した場所に見合った表現を選択することができる。</p> <p>☆選んだ場所の説明を考えさせ、それにあった文を選びやすくする。</p>
3	プレゼンを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ場所のプレゼンを作るぞ。 ・Keynote っておもしろいな。 ・伝わるような工夫って何かな。 	<p>○自己選択した場所のプレゼンを作ろうとしている。</p> <p>☆個別に回って、作り方や表現の仕方ですべて困っていたらアドバイスする。</p>
4	プレゼンを完成させよう	<ul style="list-style-type: none"> ・だんだん作り方がわかってきたぞ。 ・友だちのを見たらおもしろかったからまねしよう！ 	<p>○プレゼンの仕方や表現方法を工夫している。</p> <p>☆どうしたら伝わりやすいか友だちと交流をさせる。</p>
5	プレゼン発表のリハーサルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちからのアドバイスを生かしてもっとよくしよう。 ・Keynote を使って、自分なりのプレゼンを作れたよ。 	<p>○プレゼンを作り、リハーサルをすることができる。</p> <p>☆難しそうにしていたら、アドバイスを与え活動が進むようにする。</p>
6	プレゼン発表をしよう (タブレットで録画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作ったプレゼンをみんなに発表できたよ。 ・他の子のプレゼンも、工夫されていておもしろいなあ。 	<p>○プレゼン発表をすることができる。</p> <p>☆アイスグッジェを忘れないように伝える。</p> <p>○友達プレゼンを見て、適切にアドバイスすることができる。</p>
7	オーストラリアの友だちにプレゼンをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの友だちにわかってもらえるかな。 ・写真とか絵もつけたらわかりやすくなったよ。 	<p>○プレゼンをもとに、オーストラリアの友だちに紹介文を送ることができる。</p> <p>☆メールの送り方、住所の書き方などをアドバイスする。</p>